



# 恕の心



令和4年1月24日 校長 廣瀬 真樹



## 書き初め大会に思う

廣瀬 真樹

- 「不言実行」……真剣に黙って一枚の紙に向き合う姿に一年の成長を感じた。
  - 「新たな目標」……一枚一枚一生懸命丁寧に書き上げる姿に最高学年への決意を感じた。
  - 「無限の可能性」……最後の一枚まで自己ベストを出そうと頑張る姿に大いなる未来が見えた。
- 丸中っ子の可能性はどんどん広がる。  
丸中っ子の素晴らしさよ 多方面に拡散せよ！

皆さんの頑張る姿を見て、私自身背筋が伸びました。ありがとうございました。

## 「助けてもらえる人の特徴」



「助けてもらえる人」というと皆さんは誰を思い浮かべますか？私は「ドラえもん」ののび太くんを思い出します。彼はいつも困ると「ドラえもん！」と叫びながら二階に駆け上がり、未来からやってきた青い猫型ロボットに泣きすがら……。これが『ドラえもん』お決まりの冒頭です。もちろんドラえもんは「のび太を幸せにすること」を使命に未来から来たのですが、私は助けてもらえるのび太にも助けたくなる訳があると思います。私が考える、助けたくなる人の特徴とは次の3つです。

### ①本気の感謝がしっかりできる人

助けてもらった時はもちろん、普段から「ありがとう」と感謝を相手にしっかり伝えることができること。これはとても大事なことだと思います。難しいテクニックは必要ありません。心にわき上がった感謝の気持ちを素直に相手に伝えることで、相手も嬉しい気持ちになります。感謝に笑顔を添えるとさらに気持ちが相手に伝わります。ただ意外にこれが難しい。(大人になるほど…) 変なプライドが邪魔したり、恥ずかしがったりして素直に伝えられなかったりするものなのです。

### ②アドバイスを素直に聞ける人

伸びる人はアドバイスされたら、とにかく素直にやってみます。そしてその結果を相手に伝えることができます。ただ中には、アドバイスをもらいたがるわりに、先入観から「それはうまくいかない」と思ったり、自己流にこだわり、行動しない人もいます。いずれにせよ、アドバイスした側からすると、アドバイスを素直に聞き入れ、実行する人はサポートしたいと思います。

### ③自分の弱さを認められる人

人は所詮、一人では生きていけません。誰も出来ないことや、うまくいかないこともたくさんあるものです。もちろんまず努力し、トライしてみることは大事ですが、精一杯やって、それでも出来ないときには素直に弱さを認め、助けを求めながら生きていくのは決して悪いことではないと思います。きっとみんなお互い様の精神があれば、弱さを見せ合って生きていくことが成り立つのだと思います。

自分を大きく見せて勇み足で進むよりも、自身の弱さを認めることの方がずっと難しい。弱さを認めることは実は強さなんだと思います。素直に助け合える関係を周囲と築いて行くことは大切です。ただそのためのカギは実は自分自身の心がけにあるのだと思います。

